

＜女 子＞広島県ジュニア大会適用規則(変更)

★クラス I

跳馬	<p>跳躍:2回(良い方の得点が有効点) ◆D得点:3.00p 2.50p(1.00 1.20) 難度表にない跳躍技について ・台上前転 1.50p ・開(閉)脚跳び 1.50p ◆E得点:10.00から採点 演技全体をととしての減点 ・スピードと迫力 0.5まで ・体線の美しさ 0.3まで ・正確で安定した着地 0.3まで</p> <p>◇器具:高さ 小学生1.10m</p>
段違い平行棒	<p>◆D得点:最大3.00p <構成要求> ①低棒から高棒または高棒から低棒への移動 ②水平以上の振り上げ ③低棒で2つの技 ④高棒で2つの技 ⑤終末技はA以上 ※CR①②技でなくてもよい ③④は2回目の実施であってもよい ④下り技は含まない <難度点> ・どの難度要素もDVを0.1とみて5つまでを数える ・逆上がり、前振りから腹支持、フット下りをA(0.10)とし、CRを満たすことができる ・変更規則で難度点と認められた技はCRを満たすことができる <組み合わせ点> ・組み合わせ点はない ◆E得点:10.0から採点 演技全体をととしての減点 ・体線の美しさ 0.5まで ・振幅の大きさ 0.3まで ・スピードとリズム 0.3まで</p>
平均台	<p>◆D得点:最大3.00p <構成要求> ①180°の開脚(前後/左右)を伴う跳躍技 ②片足上の180°以上のターン ③2つ以上のアクロバット系の技 ④方向の異なる(前方/側方と後方)アクロバット系の技 ⑤終末技はA難度以上 <難度点> ・どの難度要素もDVを0.1とみて5つまでを数える ・変更規則で難度点と認められた技はCRを満たすことができる <組み合わせ点> ・組み合わせ点はない ◆E得点:10.00から実施と芸術性の減点 芸術性と振り付けの減点 ★芸術的な演技 ・演技全体を通して芸術性に欠ける 0.30まで ・動きのリズムとテンポの変化が不十分 0.1 ・演技全体を通して技と動きの一連のつながりがない 0.1 ★構成と振り付け ・動きと変化の創造性に欠ける 0.1 ・横向きでの動きがない(技ではない) 0.1 ・器械全体の不十分な使用 □平均台全体の不十分な使用 0.1 □胴の一部が台に接する平均台に近い動き(技でなくてよい) 0.1 ・技の偏り □演技全体で1回より多い脚の伸びた両足上の1/2ターン 0.1</p> <p>◇器具:小学生は台の下にセーフティーマットを入れても良い</p>

ゆ か	◆D得点: 3.00p
	<構成要求>
	①180°の前後開脚を伴う跳躍技
	②片足立ちの360°以上のターン
	③前方/側方のアクロバット系要素
	④後方のアクロバット系要素
	⑤最後のアクロバット系要素はA要素以上
	<難度点>
	・どの難度要素もDVを0.1とみて5つまでを数える
	・変更規則で難度点と認められた技はCRを満たすことができる
<組み合わせ点>	
・組み合わせ点はみない	
◆E得点: 10.00から実施と芸術性の減点	
芸術性と振り付けの減点	
★芸術的な演技	
・演技全体を通して芸術性に欠ける 0.30まで	
・演技を通して役やキャラクターを演じることができない 0.1	
・演技全体を通して技と動きの一連のつながりがない 0.1	
★構成と振り付け	
・動きと変化の創造性に欠ける 0.1	
・演技の構成において音楽と動きの関連性が不十分 0.3まで	
・床面全体の不十分な使用 0.1	
音楽と音楽性(最大0.50)	
音楽のリズムおよびテンポに合わず、バックミュージックになっている 0.5まで	

★クラスⅡ

日本体操協会2017年版採点規則変更規則Ⅱを適用する。

★クラスⅢ

日本体操協会2017年版採点規則変更規則Ⅰを適用する。

備考: 1)大会適用規則以外は日本体操協会2017年版採点規則を適用する。

2)跳馬・段違い平行棒・平均台において、着地用追加マット・セーフティーマットのどちらかを使用しなければならない。